

第 11 回多可町就学前教育・保育検討委員会会議録

1 日 時：平成 23 年 5 月 24 日(火)15:00～17:00

2 場 所：キッズランドかみ 会議室

3 出席者：

委 員 鈴木委員、青山委員、有田委員、上郡委員、平位委員、安平委員、
清水谷委員西田委員、仲田委員、岡本委員、吉田委員、原委員、
越川委員

オブザーバー 中町幼稚園 伊藤園長、みどり保育所 田島所長、四恩保育所 竹本所長
事務局 教育長、藤本副課長、浦川

報告事項

- (1) 「中区の保育所・幼稚園の今後の在り方(利用意向)に関するアンケート」結果
- (2) 「多可町就学前保育教育施設利用者満足度調査」結果

協議事項

- (1) アンケート結果から
- (2) 中町幼稚園の今後の在り方について

事務局	本日の協議事項に関連して中町幼稚園の伊藤園長、みどり保育所の田島所長及び四恩保育所の竹本所長に出席いただいている。 「中区の保育所・幼稚園の今後の在り方(利用意向)に関するアンケート」の結果を報告する。
事務局	会議資料「中区の保育所・幼稚園の今後の在り方(利用意向)に関するアンケート調査結果報告書」に基づき、調査結果を説明。
委員長	質疑応答をお願いしたい。
委 員	設問 8(中町幼稚園に通園させたい理由)の力(「保育所」より授業料が安い)の回答が多いのは、設問 10(5 歳児の保育料軽減措置をご存知ですか)で「イ 知らない」が多く、それが理由と思われる。5 歳児の保育所の保育料は幼稚園の保育料と同じか安いので、「「保育所」より授業料が安い」はありえない。
中町幼稚園	保育料軽減措置は保育所の入所説明会でこども未来課より説明されているので幼稚園に入園する世帯は聞かれていない。
委 員	幼稚園への入園決定はそれより前にされている。
委員長	事務局より満足度調査の結果を説明願いたい
事務局	会議資料「多可町就学前保育教育施設利用者満足度調査結果」に基づき、調査結果を説明。
委員長	質疑応答をお願いしたい。
委 員	この結果から言えることは公立と私立とで差はないが、サービス面の満足度は私立が高く、ハード面の満足度は公立が高い。
事務局	時期的な問題もあり、私立は複数年で公立は単年度や新設もあり公立にとって

	不利な面がある。
委員	日が浅く先生と保護者がなじんでいない。中町幼稚園は先生の入替わりがあるので先生間のコミュニケーションはどうかということがある。
委員長	職員の入れ替わりが職員間のコミュニケーションのとり方や方針の職員への浸透に影響しているのではないか。
中町幼稚園	おっしゃるとおり。職員の異動が激しく共通理解に時間をかけなくてはならない。他の園のいいものを取り入れたいという面があり、園の方針を会議で伝えるようにしているが時間がかかる。せめて1つの園で5年は続けて勤務し、保育内容をみんなで検討したい。
委員	キッズランドやちよで去年行ったアンケートで「先生がすぐに変わるので付き合い方が分からない」という回答があった。
委員	異動に関連して正規職員が少なく嘱託職員が多いことがある。私立の状況を聞いてほしい。
委員	(私立保育所には)正規の職員とパートの職員がいる。非正規の職員も1年契約だが長く勤めているので、非正規職員が若い正規職員をカバーしている面もある。
委員	公立の場合は(定期的に)人事異動を考えており、計画的に配置換えがあるが、私立の場合は同じ園でとどまるので1年で替わることはほとんどない。
委員長	園の数が少なくなったのでこれまで以上の異動はない。
委員長	それぞれの園の先生から意見を聞いてから協議に移りたい。
みどり保育所	アンケートの結果から保護者は現状のままを望んでおられるようだ。このアンケートの設問を見ると、町として現状にしておきたいという思いが見える。幼稚園で預かり保育がなかったらどうされますか、という設問があったらどう答えられるか関心がある。これまでは、出勤時間を遅らせて仕事をされていた保護者もいらっしゃるのではないか。
委員長	園としてあるべき姿をどう思われているか。
みどり保育所	加美区・八千代区と同様に、中区も3歳児から幼稚園に入園して、その代わりに仕事をしている人は保育所へ入所するのがよい。
委員長	今の段階では就労形態にあった形で保育を行うということか。もし、幼稚園がなくなったら、体制を整えることができるか。
みどり保育所	はい。
四恩保育所	アンケート結果から現状に満足されている保護者が多いと思う。定員を割っているが自己努力が必要。中区にも適正な規模があるが、小規模な施設が淘汰されると思う。町当局の方向性が決められると思うが、それは子ども本意であってほしい。四恩保育所の将来は諮問機関の法人の意見を聞かないと分からない。ここで述べるのは個人的な意見と思ってほしい。
あさか保育園	現状のままという意見があるが、前提として預かり保育がある。親の選択肢としては中区の方が少ない。就労に応じて保育所と幼稚園を選べるのが全国標準。3歳から5歳で入園できる幼稚園にすればよいと思うし、長時間の保育が必要という保護

	者は保育所を選ぶというのがあるべき姿だと思う。
中町幼稚園	親の就労や思いで選べばよいと思う。「中区の保育所・幼稚園の今後の在り方(利用意向)に関するアンケート」の設問5の解説で、『「工 年齢枠を拡大すべきである」を選択した人は19人(7.2%)ですが、この設問が単回答方式で、規模について問うものであることから、この設問をもって幼稚園の年齢拡大に対するニーズを読み取ることは難しい』とあるが、3歳からの保育のニーズは十分にあると思う。中区の保護者は3年保育を知らないので、その状態で、「工 年齢枠を拡大すべきである」を回答した人が19人もいるというのは大きいと思う。これから説明していけばよいと思う。1年だけの幼稚園より2～3年の方が成長や発達にとってよい。多可町は長時間保育による親にとってのサービスはよいが、子ども達にとって何がよいかを考えるべきである。長時間保育は必要な所には必要だが、よく考える必要がある。アンケートについて時期的なこともあるが、このアンケートの結果で課題が明らかになったので園の運営に生かしていきたい。
委員長	現状は現状として、幼稚園を3歳から通えるようにして就労形態によって保育所か幼稚園かを選ぶのが望ましいということではどうか。また、中区の保育所は施設と人的な配置において5歳で保育できる準備があるということではどうか。以上が中区の保育所と幼稚園の共通認識と思われるが他の委員はどのように考えられるか。
委員	選択肢が増えるのは保護者としてはありがたい。幼稚園をなくしてしまうとこの地区に2度と公立の幼稚園を作ることはできない。昔ながらのニーズがある幼稚園を残してほしい。人数については努力されるべきと思う。
委員長	中区の住民としては加美区、八千代区と同等の選択肢があった方がよいということか。
委員	(中区の住民ではないが)私もあった方がよいと思う。
委員長	小学校としてはどうか。
委員	就学前は就労の有無が関係している仕組みで、学校は就労が関係なく内容に重きをおくので視点が違う。中区においては就労を考えたら選択肢の幅を広げていった方がよい。自分自身はみどり保育所を出たのでずっと残ってほしいし、感情的にはそれぞれの地域に思い入れがあると思うが、最終的には子どもをどんな大人にしていこうということから制度を考えるべきと思う。
委員長	現状では中区からキッズランドへ通園している世帯もある。多可町全体でどこにいても豊かな保育経験を得られて、どこにいても大丈夫というようにすることをこの委員会としての結論としたい。
委員	第1回検討委員会で事務局がお示されたように多可町で少子化が進んでいるということが一番に考えないといけない。今後子どもが増えることは見込めないのであるから今後の就学前保育教育を考える上で外せない。経営を成り立たせようと思えば1つの園に50～60人は必要だが、町全体で6つの園がある。中区はその中でも4園を占めている。このままでよいかどうか、考えなければならない。町民の意向はできれば現状どおりにしたいということだが、これは予想された結果だ。しかし、少子化は進行しており、経営努力だけで立ち行かなくなるといふこと踏まえ

	て考えるべきだ。子ども達を中心に考えることは大切だと思うが、子どもの数が減っているという前提がある。
副委員長	キッズランドやちよにおいても、時代の流れやその年の親の横の連携によって幼稚園部と保育園部の児童数が年によって変わる。その年その年によって児童数が変わることが既存の施設で対応できるか不安な面もある。
委員長	10年後、20年後にどの程度の児童数になるか。多可町の児童数の推移はどうなっているか。
事務局	出生数は140人から150人の間となっている。これまでずっと下がってきたがこの2年ほどは150人でとどまっている。
委員	単純に考えて出生数が増えることはない。
委員	年によって幼稚園と保育所の児童数が変わるかもしれないが、全体的に子どもが減り、女性の就労が増えていくという傾向があると思う。制度としても基本的には全ての施設が総合施設になる方向にある。
委員長	結果的には4園とも(幼保一体化の「子ども園」という)同じ制度になる。そうになると4園を両立するのは難しい。それを1つにするのか、2つにするのか。ゆくゆくは6園体制が成り立たなくなる。現状では新制度ができたとしても、東日本大震災の影響で制度ができたがお金がないという可能性がある。多可町としても「ない袖はふれない」ということもあるから、実際にどのような選択をするかは行政でしっかりと考えていただきたい。この委員会では中区に4園を残し、幼稚園を3歳児から5歳児までの3年とすることを意見としてまとめたい。ただし、今後の情勢によりそのままではありえないということも理解ができるので、形を変えて存続することもありうる。住民の意見としてはこのとおりだが、最終的には行政で判断されたらよいと思う。
委員	中町幼稚園は施設として3歳児からの入園に対応できるのか。
中町幼稚園	施設的には可能。預かり保育がなくなることを前提に考えている。
委員	一時預かり保育は残してほしい。
事務局	私立保育所3園にお聞きしたい。3歳からの幼稚園部を作ることや5歳児を保育所で保育することは可能か。
あさか保育園	保育面で幼稚園に負けているという思いはない。保育所と幼稚園との違いは時間が長いか短いかとだけで、「幼稚園」という言葉には不満がある。親の方で選択するということがあっても内容を変えるのは難しいと思う。
四恩保育所	0歳から4歳は安全、養護が優先され家庭から初めて出て保育を受けるので目的が違う。制度ではなく役割が違うと思う。
あさか保育園	現在は保育所に5歳児がいないので5歳児に沿った保育を行わないが、5歳児がいればおのずと5歳児向けの保育をすることになる。幼稚園で早く帰れば時間をもてあますので子どもにとってもかわいそう。現に4歳児でもこの日はスイミングで早く帰らせたいということがあれば対応している。親も毎日早く帰ってくれば持て余してしまうと思う。
みどり保育所	国の方針として幼保一体化施設を増やそうとしている。幼稚園がなくなれば丹波市

	のように民間保育所に幼稚園機能を付加することも今後の選択としてはありうると思う。
委員長	4園で立ち行かない、または、制度が変われば保育所を一体化施設とすることもありうるなのでその準備を今からしていただきたい。保育指針と幼稚園教育要領が統一され、内容的な差は確実になくなると思う。震災の影響で財政的なことで不透明なので、私立の保育所は覚悟を決めてほしい。町の方は「ない袖はふれない」ともっていきそうですが、この委員会としては、各地区で同等の保育・教育を提供し、子ども中心に考えることとしたい。
委員長	教育内容の充実について、公立も私立も分け隔てなく政策として研修を充実させてほしい。自己評価と第三者評価をしっかりとしてほしい。子ども達が園でどのように過ごしているかを保護者に伝えるよう努力をしていただきたい。バス通園で保護者に伝える機会が限られるが普段の様子を伝える機会を作る努力をしてほしい。
委員長	(これまで発言されていない委員に)何か意見はないか。
委員	子育てふれあいセンターを利用されているお母さんの中にも本当だったら預けたいが働いていないので預けられない、幼稚園部があったらよいという声がある。少子化については第1子が少なくなっているということがますます子どもが減っていくことにつながっている。子育てふれあいセンターが一本化になったのもこれ以上増える見込みがないことが原因。4園が存続するのは難しいと思う。多可町には働く場所が少ない。町へ出て就職すると「ふるさとが好き」と出て行っても帰って来てくれるような魅力のある町づくりが必要と思う。
委員	中区の保育所3園の話の聞かせてもらって5歳児まで預かれる体制をとれるというのにびっくりした。施設の拡充が無理だと思っていた。そのような覚悟を持たれることによって3区が同じ選択肢が得られることになる。 キッズランドは小学校のように通園区域がないので中区においてもキッズランドかみ、キッズランドやちよに通うことも1つの選択肢だと思う。(加美区北端の)山寄上からキッズランドかみに通うのと(中区南端の)曾我井から通うのは距離的には同じことで、町全体として考えたらそれも1つの考え方だと思う。
委員	「私立」はお金持ちが行く所で、「公立」は誰でも行ける所というイメージがある。その園に行ったらこんなに良いことがあるという特色があれば人も集まると思う。園は親・保護者に気を遣いすぎで子どもに気が行っていないのではないかと。親はその園を選んでいるのだから、親に気を遣わず園がどしどししてほしい。子どもが多少の怪我をしようがほとんどの親は何とも思わない。中には何かを言う親もいるかもしれないが。園のおたよりもしっかりとしている。担任の先生にもよくやってくれていると感心している。
委員長	先生方にとっての環境も整えばよいと思う。公立は余裕がなくなってきた。それもいかなものかと思う。保育内容や制度面について協議する必要がある。今後とも協力いただきたい。
委員	キッズランドかみが4月にスタートして幼稚園と保育所が1つになった。前いた園が一番良いと思っていた。小規模で親との意思疎通ができていた。どの園も長い年

	<p>月を経ておりなくなることに抵抗を感じていた。実際にキッズランドかみが開園すると、子どもの人数が多いのは子どもにとっては良いことだと思えるようになった。例えば、杉原谷幼稚園は1クラスで子どもに逃げ場がなかった。子どもに幼稚園も保育所もない。キッズランドでは午前中3歳から5歳は幼稚園教育要領で、0歳から2歳は保育指針にのっとって保育を行っている。不具合といえば、環境としてちようちょやトンボが飛んで来ない園庭があるが、何年かかかって飛んでくるようになると思う。保護者も迎えに来られた時におしゃべりをされたりして仲良くなっていい面がある。バスに長時間乗るのはかわいそうだと思うがここに来てよかったと思う。問題はいっぱいあるが、子ども達自身は楽しく遊んでいるし、保護者からもあまり苦情を言われず、少しずつ落ち着いてきている。子ども達をどうするかを第一に考えている。中区からは4件幼稚園を希望されて来られている。土曜日保育もきた保育所では最大4～5人と少なかったが、今では20～30人となり、午後保育が増えてきている。</p>
委員長	<p>1年生になった途端保育に欠けるという小1問題もある。環境整備して自然に触れるようにできればよいと思う。</p>
事務局	<p>今回は7月5日(火)15時からキッズランドかみ会議室で実施する。</p>
副委員長	<p>これで第11回多可町就学前教育・保育検討委員会を終了する。この会議で中区の行く末を考えるとということを思うと今まで一番重い会議だと思った。</p>